

SDGs “持続可能な養老のまちづくり”

近年、排出するごみの量が増えています。ごみの量を減らすために自分のできることから始めましょう。

食べ残しをしないなど、食品ロスをなくせばごみを減らすことができます。(リデュース=ごみを出さない生活)

※「食品ロス」とは、本来食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。

家庭からの食品ロス

- ・料理を作り過ぎて食べきれなかった。
- ・冷蔵庫に入れたまま、賞味(消費)期限が過ぎてしまった。

レストラン、スーパーなどからの食品ロス

- ・客が注文した料理を食べ残した。
- ・商品の賞味(消費)期限が過ぎた。

※一人あたりの年間の食品ロスは、60回分の食卓量と同じくらいです。

食品ロスを減らすために

1. 買い物をする前に冷蔵庫をチェックする。
2. 空腹時に買い物をしない。
3. すぐに食べるつもりなのは、棚の手前から購入する。(賞味(消費)期限切れによるスーパーでの食品ロスを減らす)
4. 期間限定や特売セールなどの売り文句によるまとめ買いに注意する。
5. 食材を使い切る工夫をする。
6. 残さずに食べる。(食べられる分だけの量にする)

◎私たちは便利さ、快適さを追求し、今の生活にどっぷりと浸かっています。日本には古来から「もったいない」文化があります。年の初めに、今一度生活を見直して、物を大切にする、最後まで使い切るなどを意識し、実行しましょう。次の世代のために住みやすい地球を守っていくため、ごみの減量に取り組みましょう。

問生活と環境を考える会 ☎32-2386

住民環境課 ☎32-1104

土地改良区合併推進協議会が 設立されました

町では、組合員の負担軽減や組織の体制強化を図るため、土地改良区の合併や事務統合を推進しています。

この度「養老町大巻土地改良区」と「養老町小坪土地改良区」の統合に向け、12月6日(月)に合併推進協議会が設立されました。今後は、本協議会にて協議を重ね、令和5年4月の合併を目指します。



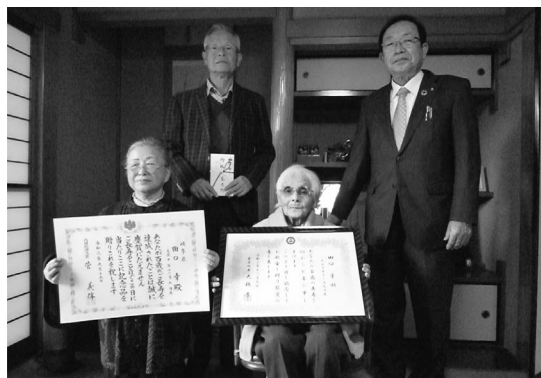
問産業観光課 ☎32-1108

ご長寿おめでとうございます

12月9日(木)に田口 幸さん(養老)が100歳を迎え、大橋孝町長より長寿のお祝い状とお祝い金が贈呈されました。

文筆が得意な幸さんは、俳句を趣味にしており、以前には新聞にも取り上げられました。「毎日頭を使うことが健康の秘訣です」と家族も話されるように、今でも毎日、A4サイズ1ページもの日記を手書きで書かれているそうです。

この日は、ご家族に誕生日をお祝いされ、にこやかに過ごされていました。



お祝い状を手に、笑顔の幸さん(下段右)